

調査から見える浦安っ子の今 ～浦安市学力調査結果～

浦安市では、小学校4年生と中学校2年生を対象に、学力調査を実施しています。本調査は実施した学年だけでなく、学校全体での学力向上を目的としており、調査結果からは、今の浦安の子どもたちの学習や生活の様子が見えてきます。

言語活動の充実を目指して —— 課題と成果

本年度の浦安市学力調査の結果はグラフのとおりです。教科全体でみると、どの教科も全国と同程度、または上回る結果となりました(グラフ1)。

昨年度は国語の「書く能力」に課題が見られ、各学校では言語活動の充実を重点とした指導改善を行ってきました。本年度は全国平均を上回

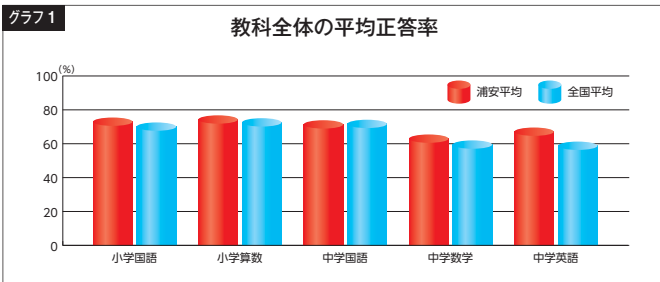
る結果となり、書く活動を意識的に取り入れた具体的な取組の成果が表れています。

一方、本年度は国語の「漢字を読む・書く」に課題が見られ、前年度までに学習した内容が十分に身に付いていないことがわかりました(表1)。繰り返し学習する

表1 正答率が低かった問題 (中学2年国語)

漢字を読む (中学1年で学習)	りしゅう(履修)
漢字を書く (小学校で学習)	砂糖 連(なる) 耕(す)

とともに、様々な学習・生活場面で活用しながら漢字を読む・書く力を身に付けていくことが必要です。

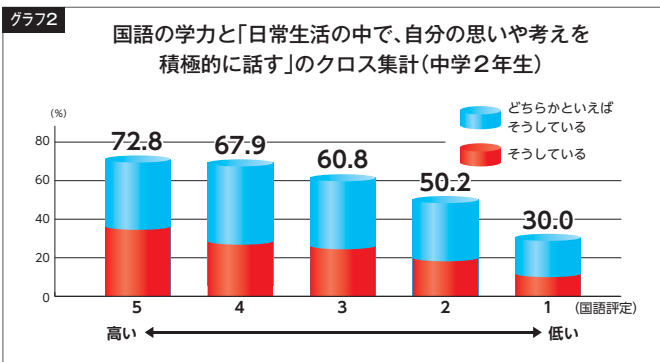


生活の中で学ぶ力を育てる —— 質問紙調査から

学力調査と質問紙調査とのクロス集計で相関を調べたところ、学力と普段の生活習慣とが大きく関わっていることがわかりました。

例えば、国語の学力が高いほど、日常生活の中で自分の思いや考えを積極的に話している割合が高くなっているこ

とがわかります(グラフ2)。買物でおつりの概算をするなど学習したことを生活の中で生かしたり、わからないことがあったらすぐに調べたりするなど、普段の生活の中で学ぶ力を育てていくことも大切です。



教育委員会では、本年度も「学力調査に係る会議」において協議を行うとともに、調査学年だけでなく学年間、小・中学校間の学びの連続性をふまえた学力向上の手立てについて、国立教育政策研究

所の榊山敏郎氏より助言をいただきました。

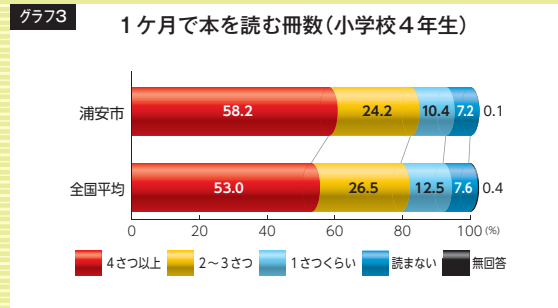
今後、全国学力・学習状況調査の結果とともに分析を行い、児童生徒の実態に合わせた更なる学力向上に取り組んでいきます。



読書が大好き浦安っ子

—— 特色ある各学校の読書活動

読書に関する調査では、1ヶ月間で4冊以上本を読む小学校4年生は全国平均を上回り、全体の6割近くに上ります(グラフ3)。



浦安の子どもたちの読書好きを支えている読書活動の一つに、入船北小学校の「なかよし読み聞かせ」があります。毎週金曜日の朝、1~6年生の10人程度で構成される仲よし班が一つの部屋に集まり、代表の児童が読み聞かせを行っています(写真)。現在の6年生にとっては入学した時から生活の一部となっており、昨年度1年間の貸し出し数は一人平均126冊にも上ります。



この他、市内の各学校では、保護者や地域の方々による読書ボランティアなど、学校の特色を生かした様々な読書活動が行われており、学校、保護者、地域の方々と共に、読書に親しむ浦安っ子をはぐくんでいます。